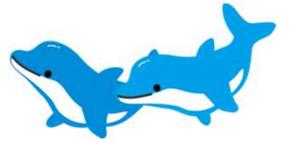




8月新着図書案内



下旬版
富山中部高校図書館



EU騒乱

テロと右傾化の次に来るもの

広岡 裕児 著

なぜ「欧州」は今、私たちをこんなに不安にさせるのか。パリの無差別テロ、溢れる難民、財政破綻、そして右傾化。「平和」をかかげ「民主主義」を育んだEUの国々の躓きを、欧州を見続けたジャーナリストが「危機の本質」「民主主義の現在地」を明らかにする！



男子問題の時代？

錯綜するジェンダーと教育のポリティクス

多賀 太 著

「男性優位社会」日本における男の生きづらさとは。ジェンダー平等をめぐる教育現場での錯綜は男子に何をもたらすか。男子の学力不振、厄介者の男子、「男らしさ」の市場価値の下落等、男のあり方をめぐるパラドックスに迫る。

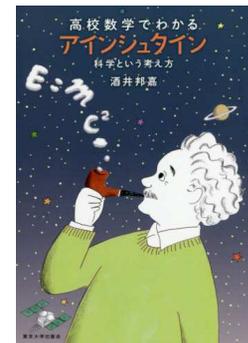


生きるのが面倒くさい人

回避性パーソナリティ障害

岡田 尊司 著

自分に自信がなく、人から批判されたり恥をかくのが怖くて、社会や人を避けてしまう。それが回避性パーソナリティの特徴だ。精神科医・作家の著者が、面倒くささや無気力な状態を脱し、自由に生きるための方法を紹介する。



高校数学でわかるアインシュタイン

科学という考え方

酒井 邦嘉 著

高校初等レベルの数学で、力学から相対論・素粒子論まで本格的に学ぶことができる入門書。「なぜそのように考えるのか」「なぜそのように面倒に思えるようなことをするのか」という疑問に、丁寧に解説。科学の考え方や面白さを一から知ることができる一冊。

第155回
直木賞受賞作

海に見える理髪室

荻原 浩 著

主の腕に惚れた大物俳優や政財界の名士が通いつめた伝説の床屋。ある事情からその店に最初で最後の予約を入れた僕と店主との特別な時間が始まる「海に見える理髪店」(直木賞受賞作)ほか、人生の可笑しさと切なさが沁みる、大人のための“泣ける”短編集。



図書館からのお知らせ

夏休み前に
借りた本は
返却してください。